
Star Wars: The Clone Wars Original Saga Part2

海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Star Wars : The Clone Wars Original Saga Part 2

【Nコード】

N2485R

【作者名】

海

【あらすじ】

遠い昔、遙か彼方の銀河系で・・・

ジェダイ聖堂で起きたデータ盗難事件。

犯人のスパイを追っていた二人のジェダイは、壮大な陰謀に巻き込まれることとなる。

（前書き）

この小説の設定は、映画六部作に準じます。

小説やコミックスなどのジョージ・ルーカスが関わっていない作品の設定は採用しません。

アナキンなどの既存のキャラクターはほとんど登場しません。

キールはジエダイ聖堂の中を移動し、とある一室へとやって来た。

「マスター・グラヴァス」

キールに声をかけられたグラヴァスは、ゆっくり振り返ってキールを見た。

グラヴァスの右の頬には小さな傷があり、短いあご髭をはやしていた。

「キールか。スパイの件はどうだった？」

「逃げられました。続きの調査は別の者が」

グラヴァスは目を細めて何かを考えているようだったが、立ち上がってキールに近づいてきた。

「私が調べてみよう」

「それは許されるんですか？」

キールの問いに、グラヴァスは笑った。

「お前は調査からはずされた。私は違う。まあ、頼まれてもいないがな」

グラヴァスはそう言い残すと、部屋を出て行った。

ここは惑星フェルシア。

うっそうと茂る木々の間を、グルーは歩いていた。

しばらくすると、川にでた。

川幅が狭い小川だったが、あたりの地面が湿っている。

それはまるで、つい数分前まで大きかった川が、何かに遮ら小規模になったようだった。

グルーは周囲を見回すと、川を横断して木々の奥へ消えた。

その夜、グルーは森林地帯をぬけたところにある、沼地を歩いている。

た。

周囲を警戒していたグルーは、突然立ち止まり、木の陰に隠れた。少し離れた場所に、アクレイがいたからだ。

アクレイは、巨大な爪と、鋭い牙を有する危険な生物である。

グルーが静かにそこを離れようとしたとき、突然誰かの叫び声がし、アクレイが振り向いた。

グルーは声の主をさがすも、突進してくるアクレイを避け、ライトセイバーを取り出した。

緑の光刃を振り回し威嚇するが、アクレイは止まらない。

グルーはジャンプしてアクレイの背後にまわると、歩行にも使用されるアクレイの爪を切断した。

バランスを失ったアクレイは倒れ、グルーを睨んだ。

「すまん・・・」

グルーはそうつぶやくと、ライトセイバーをしまい、歩き出した。

(後書き)

グロウ・グラヴァス

階級・ジェダイ・マスター

光刃・青色

愛機・デルタ7B・イーススプライト級ライト・インターセプター

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2485r/>

Star Wars: The Clone Wars Original Saga Part2

2011年10月6日19時08分発行